

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事業名	指定ごみ袋事業	コード	01-01-14-03	担当課	環境課 衛生係
事業実施期間	平成17年～	担当者	馬場敬士	電話	64-1821
総合計画 事業(政策)体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり			
	中項目	生活しやすいまちづくり			
	小項目	ごみ処理			
	施策	資源ごみの分別拡大と収集による減量化・資源化の推進			

事業について	
目的	ごみ処理経費の一部を市民の皆さんに公平に負担してもらうことにより、ごみ減量意識の高揚を図り、ごみの減量化・資源化を目指す。
対象 (誰のために)	ごみ処理を必要とする備前地域の市民・市内業者
内容	指定ごみ袋の製造と市内販売店による販売 もえる物 45リットル袋 10枚/450円 30リットル袋 10枚/300円 もえない物 30リットル袋 10枚/300円

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
販売枚数	1,441,500 枚		
製造枚数(有料袋)	3,600,000 枚		
〃 (ボランティア袋)	300,000 枚		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	32,566	国県補助金等		直接事業費		国県補助金等	
	人件費	2,205	受益者負担	58,448	人件費		受益者負担	
	合計	34,771	市債	▲23,677	合計	0	市債	0

必要人員	0.30	人		人
結果指標①				
結果指標名	販売枚数			
結果指標量	1,441,500			
単位	枚			
対前年比	—		0.00%	
事業費	34,771,000	円		円
単位当たりコスト①	24	円		円
結果指標②				
結果指標名	製造枚数(有料袋)			
結果指標量	3,600,000			
単位	枚			
対前年比	—		0.00%	
事業費	34,771,000	円		円
単位当たりコスト②	10	円		円

事業の成果			
成果指標名	1日当たりのごみ収集量	式又は説明	ごみ収集量/ごみ収集日数 ※指定ごみ袋制度の導入は、ごみの資源化、減量化を目的としており、1日当たりのごみ収集量を成果指標とする。
成果指標量	17年度		
	32		
対前年比	—		0.00%
到達目標値	27t/日	到達目標年度	平成27年度

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である [関係法令等:]
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

総合評価	
コメント	指定ごみ袋制度の導入後、備前地域のごみの搬出量は2割程度の減となっており、ごみの減量化、資源化については、成果が上がっている。また、燃えるごみについては、市民の要望により、平成18年7月より20r袋を導入する。
評価区分	<A~E> B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量 31t/日

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性			
効率性	20r袋(燃えるごみ)の導入	H18.7~	少数世帯のごみに対応
有効性	指定ごみ袋使用の徹底	H18~	ごみの不法投棄の減

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。